

第10回防災推進国民大会 ぼうさいこくたい2025 in にいがた 開催県の取組状況について



防災局 防災企画課

1 新潟県としての「ぼうさいこくたい」開催意義

1. 中越地震など、様々な種類の災害を乗り越えた新潟県の教訓・経験、復旧復興の取組、防災対策を全国に発信する機会

- 新潟地震（津波、液状化）、羽越水害、新潟焼山火山災害、中越地震、7・13水害、中越沖地震、土砂災害、洪水、豪雪、雪崩、大雨による災害、R6能登半島地震（津波、液状化）
- 特に、中越地震では、中山間地の被災、孤立地域の発生、避難所環境、災害関連死、エコノミークラス症候群、車中泊避難など現在に通じる課題が浮かび上がった。

2. 災害の経験、教訓を次世代へつなぎ、県民の一人一人の防災意識を高める機会

新潟県防災基本条例の基本理念…「県民が、防災に関して生涯にわたって学び、自らがとるべき行動に習熟し、
次代の県民にその知識と経験を伝承する機会を確保すること」

- 災害の経験、教訓を次世代へつなぐ
- 過去の災害を教訓とした防災や災害からの復興の取組を発信し、県民の意識向上を図る
- 記憶を風化させない、忘れない
- 自分の身は自分で守る「防災意識」の向上

3. 防災に関わる多様な主体の連携・協働を推進・強化する機会

新潟県防災基本条例の基本理念…「自助、互助、共助及び公助を担う多様な主体が相互に連携・協働して
持てる力を最大限に発揮すること」

2 ぼうさいこくたい2025in新潟

□防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）とは



- ◆ 防災に取り組む多様な団体・機関が全国から集まり、それぞれの取組み・知見を発信・共有する**日本最大級の防災イベント**
- ◆ 2日間にわたり、多くの団体・機関が参加し、防災に関する様々な講演、ワークショップ、ブース展示、屋外展示等を実施

□新潟県の取組内容

- ◆ 大会に向けた現地情報共有・連携会議の開催
- ◆ 主催セッション（パネルディスカッション）、ブース展示等の実施
- ◆ 大会の認知度向上や県内の機運醸成のための広報
- ◆ その他大会の円滑な開催のための各種調整

◆ 第10回防災推進国民大会（ぼうさいこくたい2025in新潟）

- ◆ テーマ：語り合い・支え合い
～新潟からオールジャパンで進める防災・減災～
- ◆ 主催：防災推進国民大会2025実行委員会
(内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議)
- ◆ 協力：新潟県、新潟市
- ◆ 開催日：9月6日(土) 9:00～18:00
9月7日(日) 10:30～17:30
- ◆ 会場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター
- ◆ 来場者：防災に関心のある方、学びたい方
- ◆ 入場料：無料
- ◆ 出展者：日頃から防災活動を行っている団体、学校、企業等
- ◆ 出展タイプ：セッション、ワークショップ、ブース展示、パネル展示、屋外展示、ステージ発表、出展団体オリジナル企画、オンライン出展

<開催実績>

出展数：470団体（過去最多）
来場者数：約19,000人（過去最多）

★ぼうさいこくたい2025公式サイト
<https://bosai-kokutai.jp/2025/>



◆ 開催に係るスケジュール

- ◆ R6.10月【内閣府】開催日発表
(20日熊本大会加・ゾングセッション)
- ◆ R7.1月【内閣府】開催会場・テーマ発表
- ◆ R7.3月【内閣府】出展者公募案内公表（7日）
第1回現地情報共有・連携会議（12日）
(大会概要説明・情報共有)
【内閣府】公募説明会（17日）
- ◆ R7.4月【内閣府】出展者募集（4月1日～25日）
第2回現地情報共有・連携会議（15日）
(出展準備や出展検討状況の情報共有)
- ◆ R7.6月【内閣府】出展者決定（26日）
- ◆ R7.7月【内閣府】出展者説明会①（10日）
長岡市でのプレイベント（13日）
出展者現地会場下見（14日）
- ◆ R7.8月 **第3回現地情報共有・連携会議（6日）**
(出展者からの企画内容共有)
【内閣府】出展者説明会②（25日）
- ◆ R7.9月 **ぼうさいこくたい開催（6日、7日）**
- ◆ R7.12月 **第4回現地情報共有・連携会議（11日）**
(大会の振り返り)

3 ぼうさいこくたい2025in新潟（リーフレット）

ぼうさいこくたい 2025 in 新潟
語り合い 支え合い
～新潟からオールジャパンで進める防災・減災～

9月6日・7日
入場料 無料

防災推進国民大会（通称 ぼうさいこくたい）は、内閣府等が主催し、産学官民の関係者が日頃から行っている防災活動を発表し、交流する日本最大級の防災イベントです。2016年から開催しており、2025年(第10回)は、新潟県新潟市で開催します。新潟県は、2004年中越地震等を経験しており、その経験や教訓を次世代に伝え、将来の災害に備えます。

詳しくはWEBサイトで！
[ぼうさいこくたい 検索](https://bosai-kokutai.jp/2025/)

防災推進国民大会 2025 in 新潟

日程 2025年9月6日(土)・7日(日)
9月6日 9:00～(オープニングセッション) 10:30～18:00 (その後の出展)
9月7日 10:30～17:30(閉会式) 18:00～19:00(その後の出展)

会場 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター
※新潟県立総合体育館(15日) 新潟県立体育館(16日) 新潟県立体育館(17日)

主催 防災推進国民大会2025実行委員会
(内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議)

協力 新潟県・新潟市

お問い合わせ ぼうさいこくたい2025 運営事務局
TEL: 03-6277-6276 (平日9:00～17:00)
E-mail: bosai-kokutai2025@niigata.go.jp

にいがた防災産業展
2025年9月6日(土)・7日(日) 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

火山防災の日 啓発イベント
朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

—— 注目イベントのご案内 ——

主催：内閣府・中越防災安全推進機構 協力：Love River Net
新潟の防災関連施設見学バスツアー **9/5**

中越地震復興コース及び水害治水コースの2コースを設けてエクスカーションを開催します。どちらも専門家がガイドとして行います。

プラン1 中越地震復興コース
新潟駅発
中越メモリアル回廊
長岡復興アートセンター
まねくみらい
妙見メモリアルパーク
やまごし復興交流館
水原メモリアルパーク
おちや復興ミュージアム
新潟駅着

プラン2 水害治水コース
新潟駅発
713水害関連施設
三上市水防学習館
瀧のついでみす
信濃川大河津資料館
(資料は本館を所蔵する「信濃」にとこみえる館)
新潟駅着

※参加費は定員までご負担いただけます。
※各コースとも8時30分～17時00分を予定しております。
※定員は各プラン25名程度(先着順)を予定しております。
※プラン1、プラン2のどちらかをお選びいただき、ご希望のプランに申し込んでいただきます。
お問い合わせ：中越防災安全推進機構 TEL: 0258-39-5525 E-mail: kikkumai@bosai.jp

共同主催
北陸農政機構 新潟県水防協会
新潟県水防協会
新潟県土木建築部
新潟県土木建築部
新潟県農地
新潟県農地

農業水利施設と新潟の農村を巡る防災ツアー **9/6**

朱鷺メッセ発
農業水利施設
新潟県農業試験場
新潟市農業体験施設(アグリパーク)
田んぼ体験
新潟県農地
朱鷺メッセ着

※9月6日(土)開催
40名(先着順)
9時～15時30分を予定しております。
※参加費は無料
お問い合わせ：中越防災安全推進機構
E-mail: ng0702020@pref.niigata.jp

火山防災の日 啓発イベント

※全県テーマ

●「火山防災」を踏まえた地域防災力の強化
●新潟県の活火山「新潟県山」の事例から考える、地域住民の火山防災意識の向上

会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター内
主催：内閣府、新潟県山火山防災協議会(新潟県)
共催：火山調査研究推進本部(文部科学省)、気象庁、国土地理院
後援：火山防災強化推進部(新潟県)、火山防災強化部(新潟県)

8月26日は火山防災の日

https://bosai-kokutai.jp/2025/kanan

併催イベント

にいがた防災産業展
防災関連企業、団体を集めた展示会
会場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター
時間：9月6日 10:30～18:00
9月7日 10:30～14:00
主催：新潟県

いつものものしも CARAVAN
防災の知識を楽しく学べる体験型イベント
会場：万代島多目的広場 大がき
時間：9月6日 10:30～14:00
共催：新潟県、株式会社員員計画

4 新潟県の広報の取組み

【ポスターやチラシの掲示・配布】

ファミリーマート県内全156店舗、イオン新潟亀田インター、無印良品、県内市町村、県立施設（文化や体育、病院、高校大学等）、県内施設（新潟空港や佐渡汽船、駅等）

【メディアでの周知】

UX、BSN、FM-NIIGATA、BSNラジオ、日刊いがた、Komachi Web、新潟日報、全国紙（産経、毎日、朝日、読売）

【その他】

県民だよりの発行
 県広報番組「週刊県政ナビ」
 知事記者会見の演台にポップを設置
 県内道路掲示板での周知
 県庁内放送や職員ポータルサイトでの周知
 新潟県ホームページ、新潟県防災局X等により県や関係団体等出展内容を紹介



9/6土・7日 朱鷺メッセで開催 ぼうさいこくたい2025 in 新潟

【9月6日（土）・7日（日）開催 ぼうさいこくたい 2025 in 新潟】新潟県防災局出展紹介 No.10

9月6日（土）・7日（日）に新潟朱鷺メッセにて日本最大級の防災イベント「ぼうさいこくたい2025 in 新潟（第10回防災意識向上大会）」が開催されます！
 新潟県防災局では、セッションブース展示、壁面展示を出展予定です。8月25日（月）から9月5日（金）までの平日10日間出展内容を紹介していきます！

「出展テーマ」・「出展内容」

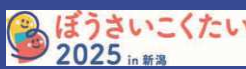
「出展テーマ」
 012 避難所に乗って体験、中越地震の復旧

「出展内容」
 避難所（体験体験）に模擬、データによって再現された中越地震など過去の地震の復旧を体験していただきます。
 ※体験時間は30分程度です。
 ※激しく揺れるため、保護がされない方、妊婦されている方、小学生未満の方、身長120cm以下の方体験はできません。

災害から身を守るにはどうする？

1 食料品と生活用品の備え
 2 住宅の耐震性と室内の安全確保
 3 情報の取得と活用

防災について ぼうさいこくたい 2025 in 新潟



5 新潟県関係の出展概要

◆ セッション

(1) オープニングセッション〈主催：内閣府〉

6日（土）9:00~10:00	
開会挨拶	内閣府防災担当大臣、防災推進協議会会長、新潟県知事、新潟市長
出し物	BLOOM WORKS（音楽ユニット）+ 新潟明訓高校合唱部 歌手 小林幸子
基調講演	前長岡市長 森民夫「中越地震を振り返って-創造的復旧の道程」



(2) 新潟県主催セッション

6日（土）12:30~16:00	
テーマ	中越地震を越えて ～新潟から次世代へのメッセージ～
概要	大学・民間・報道という異なる立場で復興に携わってきた3名の登壇者が、地域との関わりや再生の歩みを振り返りながら、「地震があったからこそ見つめ直せた地域の力」について議論。



(3) 新潟県主催セッション（個別避難計画）

6日（土）16:30~18:00	
テーマ	誰一人取り残さない避難行動に向けて ～実効性ある個別避難計画の作成～
概要	個別避難計画の意義や自治体や関係機関の取組事例、優先度が高い医療的ケア児の取組等をテーマに、災害時の避難支援と事前計画の大切さについて発信。



(4) 新潟県セッション（チームいがた）

7日（日）14:30~16:00	
テーマ	災害時の建物調査・罹災証明書発行のための応援・支援の枠組
概要	令和6年能登半島地震の被災自治体への支援の取組を通して、災害時の建物被害認定調査業務や自治体間の相互応援の重要性を全国に向けて発信。



(5) 内閣府と共催（火山防災の日セッション）

7日（日）14:30~16:00	
テーマ	「火山防災の日」啓発イベント
概要	地域における「火山防災」の観点から、本県の常時観測火山「新潟焼山」における防災の取組も含めて、地域住民の防災意識の向上について考えました。



(6) 日本消防協会主催セッション登壇

7日（日）14:30~16:00	
テーマ	地域総合防災力の発揮
登壇者	新潟県内における地域総合防災力に関する具体的な活動事例の発表とともに、有識者を交えた意見交換を行う。本県からは中村防災局長が登壇し、取組について発表。



(7) クロージングセッション〈主催：内閣府〉

7日（日）16:30~17:30	
セレモニー	大会ダイジェスト映像、新潟県生徒会連盟「新潟から未来に向かって」、大会総括、関係者挨拶
概要	兵庫県立大学の澤田先生進行により防災活動に取り組む新潟県生徒会連盟の生徒7名からのメッセージ発表を行うとともに、新潟大学 田村先生による大会総括を実施。





◆ ブース展示・パネル展示、屋外展示、出展者オリジナル企画

所属	テーマ、概要など
防災	防災企画課 ① 起震車 に乗って体験、中越地震の揺れ ② 備えていますか？ 保険・共済 による自然災害への備え（新潟県地震等災害保険・共済普及協議会）
	危機対策課 ③ 知っておきたい情報満載「 新潟県防災ナビ 」／映像で知る 防災ヘリコプター の仕事
	消防課 ④ 消防団 の活動を体験～あなたも街のヒーローになろう～ ⑤ 女性防火クラブ の活動紹介、防火・防災の呼びかけ（新潟県女性防火クラブ連絡協議会）
福祉	生活衛生課 ⑥ みんなが助かるための ペット防災 を考えよう～にいがたペット防災ミニサミット～（関係団体と共催）
農林	治山課 ⑦ 流木災害 の新たな気づき～令和4年の新潟県北豪雨から考える～
農地	農地建設課 ⑧ 農業水利施設 と新潟の農村を巡る防災バスツアー（関係団体と共催）
土木	道路管理課 ⑨ 持続可能な 除雪体制 の構築に向けて（除雪オペレータ担い手確保協議会の取組）
	道路建設課 ⑩ 県内の 高規格道路 の整備状況と災害時の役割
	河川管理課 河川整備課 ⑪ 命と暮らしを守る 川づくりと防災教育 －新潟県の取組
	砂防課 ⑫ 土砂災害防止 に向けた新潟県の取組
	建築住宅課 ⑬ はじめよう！わが家の地震対策（ 耐震 シェルター等の展示）（新潟県耐震改修促進協議会） ⑭ 屋根雪降ろし には「命綱」と「アンカー」を！（命綱固定アンカーを取り付けた屋根模型の展示・使い方実演等）（新潟県克雪住宅普及協議会） ⑮ 応急仮設住宅 の模型展示等
警察本部	⑯ 災害時における警察の 災害警備活動 （災害活動用車両の展示、体験乗車、子供用制服の試着）



7 現地情報共有・連携会議について

◆ 現地情報共有・連携会議の目的

1. 県内の防災関係団体・企業の皆様に「ぼうさいこくたい」を知っていただき、**出展を促進**すること
2. 他の団体の出展を知ってもらい、**出展内容のブラッシュアップやコラボレーション**を促すこと
3. 出展団体の**連携・交流を促進**すること



ぼうさいこくたいを契機とした新潟県の防災力の強化！

◆ 現地情報共有・連携会議の参加呼びかけ対象

約1,000の団体等に呼びかけを実施

区分	主な機関・分野
新潟県防災会議委員団体（約50）	指定地方行政団体、自衛隊、教育、警察、市町村、ライフライン事業者、医療、報道、交通、福祉、学識者 等
災害応援協定締結団体（約300）、新潟県防災産業ステーション登録企業（約200）	報道、小売、ライフライン、住宅、土業団体、農業協同組合、通信、運送、自動車関係等
防災活動団体、災害ボランティア団体（約20）	新潟県災害ボランティア調整会議構成団体等
県内大学（30）	県内国公立大学、大学院大学、短期大学（大学私学振興課経由）
市町村教育委員会、県立学校、私立学校 等（約200）	市町村教育委員会、高等学校、特別支援学校、専門学校（保健体育課、大学私学振興課経由）
市町村、自主防災組織、新潟県防災リーダー（約330）	県内30市町村を通じ、各市町村の自主防災組織等に対し周知

8 現地情報共有・連携会議の実施状況

	日程	参加人数	内容
第1回	R6.3.12	342人 (内訳) 現地出席 72人 オンライン 270人	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼうさいこくたいの開催概要 (内閣府) ・県内団体等からのメッセージ ・併催イベントについて (新潟県) ・前回開催地の状況 (熊本県) ・いがた大会の進め方について (新潟県)
第2回	R7.4.15	237人 (内訳) 現地出席 62人 オンライン 237人	<ul style="list-style-type: none"> ・出展公募の概要 (内閣府) ・出展申込から大会当日までの準備 ・県内団体の出展検討状況 ・グループ別情報交換
第3回	R7.8.6	174人 (内訳) 現地出席 39人 オンライン 135人	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼうさいこくたい当日に向けて (内閣府) ・昨年度の状況、出展に向けてのアドバイス (TEAM防災ジャパン) ・出展企画内容の共有
第4回	R7.12.11	144人 (内訳) 現地出席 15人 オンライン 129人	<ul style="list-style-type: none"> ・大会開催実績 (内閣府) ・県内団体等の出展結果報告 ・2026鳥取大会について ・新潟県からの報告 ・新潟大会の総括等 ・新潟大会の感想と鳥取大会への期待

第1回【ぼうさいこくたいの理解】 第2回【出展検討・準備】 第3回【当日に向けた情報共有】 第4回【大会振返りと次回大会に向けて】



9 会議参加者アンケート (第1回から第3回)

第1回【ぼうさいこくたいの理解】
回収数83

① 出展予定について	
出展予定	53
検討中	21
出展しない予定	9

② 関心のあるテーマ (複数選択)	
防災教育	25
地震	23
風水害	16
コミュニティ防災	17
避難所	23
ボランティア	10

第2回【出展検討・準備】
回収数100

① 出展予定について	
出展予定	75
検討中	25
出展しない予定	0

② 会議の内容は出展検討の参考となったか	
参考になった	57
多少は参考になった	30
どちらとも言えない	8
あまり参考にならなかった	3
参考にならなかった	1
その他	1

③ 会議は、他団体との連携・交流の機会となったか	
連携・交流の機会となった	52
連携・交流の機会とはならなかった	14
どちらとも言えない	20
わからない	3
その他	11

第3回【当日に向けた情報共有】
回収数34

① 出展予定について	
出展予定	34
出展しない	0

② 会議の内容は出展準備の参考となったか	
参考になった	21
多少は参考になった	8
どちらとも言えない	3
あまり参考にならなかった	2
参考にならなかった	0
その他	0

③ 会議は、他団体との連携・交流の機会となったか	
連携・交流の機会となった	15
連携・交流の機会とはならなかった	7
どちらとも言えない	11
わからない	1
その他	0

④ ぼうさいこくたい終了後の取組として、県では防災団体の連携・情報交換の場を設けることを検討している。このような場に参加したいと思うか。	
参加したい	23
参加しない	0
どちらとも言えない	9
わからない	2
その他	0



10 第4回会議参加者事前アンケート

第4回【ぼうさいこくたいの振り返り（事前アンケート）】回収数142

①出展について		②ぼうさいこくたい出展は今後の防災活動に役立つか	
出展した	113	役に立つと感じた	112
出展しなかった	29	どちらとも言えない	1
		役に立たないと感じた	0

③ ②の理由（主なもの）

役に立つと感じた	<ul style="list-style-type: none"> 他の出展者との交流により平時からのつながりが生まれた。 セッション動画のアーカイブにより開催後も認知拡大に繋がりました。 共同出展したことで、今後も連携しての活動が可能となった。 幅広い情報を得ることができた。 地域とのつながりや、新しい気付きがあった。 新しい出会いとつながりができた。様々な団体との意見交換が有意義な機会となった。 自団体の取組を参加者へ直接紹介することができました。 また、いろいろな立場の参加者の反応から、次の取組を検討するきっかけになりました。 他団体や自治体などからも情報が得られた。今後の防災に関する活動のヒントを得た。 異業種とのつながりの機会を広く持つことができた。 防災の原点は教育であることがアピール出来た。 多くの方にご来場いただき防災意識向上につながったと感じた 他団体との交流を通して新たな輪が広がり、特に防災に携わる学生の方々と平常時からつながりを持つことができた点が大きいです。こうした日頃の関係づくりは、非常時の助け合いにも直結すると感じています 地域産業と連携した取組が多数あり、素晴らしいと感じた
どちらとも言えない	<ul style="list-style-type: none"> 出展数が多すぎて、繋がりたいと思う協会などを探すのに苦労した。

④ぼうさいこくたい2025in新潟に出展した感想（主なもの）

良かったこと	<ul style="list-style-type: none"> 会場が分散せず、朱鷺メッセ1か所で各展示・発表を回ることができてよかった。 会場もとてもひろく、例年、狭かったり暑かったりの問題がありましたが、通路も広くてよかったです。あとは暑さ対策です。
残念だったこと	<ul style="list-style-type: none"> 基地局搭載車両の展示はできたものの屋内会場であったためStarlinkの衛星を受信できずデモができなかった ブースレイアウトを上手くできたらと思いました。避難所用間仕切りがメインのため、ブースサイズが足りず展示紹介しづらいです。 オープニングイベントの「始まった感」を全体が共有できる仕組みがあると良かった。展示場のアナウンス等もなく、なんとなく始まって、なんとなく時間で終わった感じが残念。 出展者同士の交流の機会がもう少し充実していると良いと思った。 一団体一つの出展という「縛り」がなければ、もっといろいろなことに挑戦できたと思います。『にいがた防災産業展』も出展したかったが、どちらかを選択しなければならなかった セッションにおいて、講演者・パネリストとの交流をしたかったが、セッション終了とともに舞台裏に退場されたので交流のタイミングがなかったこと。 同日に近隣会場で企業展などが行われていたのは、参加者が分散してしまいモットイナイと感じた。

11 第4回会議参加者事前アンケート

第4回【ぼうさいこくたいの振り返り（事前アンケート）】

④新潟大会に出展した感想（主なもの）

残念だったこと	<ul style="list-style-type: none"> 出展にかかる仕様が二転三転し、直前まで展示内容を決めきれなかった まともな昼食が取れなかった。せっかく新潟に来た団体もいたのにアピールできなかったのでは。 開催申込、事前説明会等スケジュールがタイト。出展決定通知の遅れ、出展情報の提示遅れ
反省したこと	<ul style="list-style-type: none"> 用意していた資料が足りなくなったこと。参加者予測の難しさを痛感しました。
工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> 展示車両台数を増やし、子どもも参加できる体験コーナーを作り集客につなげた
大会運営の改善事項	<ul style="list-style-type: none"> 主催者による当日までの各種準備や連絡がかなり遅れていた印象です。その要因は何だったのでしょうか。次回に向けて改善すべき事項は何でしょうか。 ワークショップの部屋が分かりにくくお越しになれなかった方がいた。受付の案内の方に聞いても良くわからない説明であつたらしい。 セッションの会場が分かりにくく、参加できなかったのが悔やまれます。誘導、案内、会場内でのアナウンスが重要だと思います。 開始時間までは一般来場者の入場を制限していただくと有難い。早めに準備をしていたが、準備中に訪れる見学者は準備途中の状態に対応することになり少し残念だった。 屋外でのブース展示でテント内での出展でしたので、展示品についてはテント内だったため室内展示より見てくれる方は少なかったと思います。強風で室内扉を閉められた際には特に人の流れがなくなりました。 全ての来場者との名刺交換ができなかったため、入場者の情報（所属、氏名、連絡先等）をQRで読み取るような仕組みが欲しい。 準備段階で締め切り過ぎてもアナウンスがなかったり、対応を要する期間が短かったりして、初めての出展で勝手がわからず戸惑うことが多かった。WEBでの入力等、ある程度余裕を持った期間設定にしてほしい。 参加の為に車両の駐車場（開催日前日）の手配が良くなかった。 パネル等の閲覧については、ある時間帯（コアタイム、2回程度）でポスターを閲覧するというような運営をすれば見学者も回れやすくなるのではと感じました。 昼食を取れる場所が少なく待たされるなどの問題があった。 屋外展示は建物の裏側のため誘導をもう少し配慮していただければと思いました。 直前まで運営側の変更があり当初の計画とは違う運営になってしまった。発表された内容からの変更はなるべく避けていただきたい。 大交流会とか、会場ツアーを展開したが、出展者同士の交流をもっとしかける必要がある。
内閣府防災や新潟県への要望	<ul style="list-style-type: none"> 周知、申込み、出展決定期間に余裕ほしい 大会の開催場所は、努めて宿泊施設の多い所で選定いただくとありがたいです。 現地情報共有・連携会議は参考不足、出展問合せ（メール）返答が無かった 会議開催が18:00以降の開催となっているためビジネスタイムでの開催を希望 「ワークショップオンライン」の取組はぜひ継続していただきたい。開催会場に足を運べない方々にもご参加を賜ることができ、災害対応への意識喚起の効果が絶大であるため。

⑤その他（質問事項等）

次回（鳥取大会）における申込受付や出展可否決定などのスケジュールを教えてください。
新潟では併催イベントが開催されましたが、2026年大会についてはいかがでしょうか。
令和8年度の開催が鳥取県倉吉市ですが、宿泊施設や昼食について、どのような対応等をされるのか伺いたい。

12 ぼうさいこくたい2025in新潟を通じて



屋外展示の様子



ブース展示の様子



大交流会の様子



**自然から多くの恵みを受ける一方で、自然の厳しさも受けてきた新潟県。
新潟県の多様な主体の防災減災の取組を発信し、全国の防災力向上に貢献できました。**



特別企画「新潟から未来へ向かって」
新潟県生徒会連盟



大会総括 新潟大学危機管理センター
田村教授



2026年開催県あいさつ
鳥取県 平井知事

13 今後の新潟県の取組について

**地域防災力の更なる向上のため、官民の連携がより一層進むように
防災活動団体が、平時から情報共有や意見交換を行う場を設置予定（R8～）**